

< FIM 世界耐久選手権 >

「Honda HRC」が鈴鹿 8 時間耐久ロードレース 第 47 回大会で優勝 ～Honda HRC は 5 連覇、Honda は通算 32 勝を達成～

「2026 FIM^{※1} 世界耐久選手権“コカ・コーラ”鈴鹿 8 時間耐久ロードレース 第 47 回大会（以下、鈴鹿 8 耐）」が、7 月 5 日（日）に鈴鹿サーキット（三重県）で開催され、一日を通じて断続的に降り続いた雨により、路面状況が刻々と変化する難しいコンディションの中、Honda のワークスチーム^{※2}「Honda HRC（マシン：CBR1000RR-R FIREBLADE SP、ライダー：高橋巧、ジョナサン・レイ、ソムキアット・チャントラ）」が優勝しました。

※1 FIM とは、Fédération Internationale de Motocyclisme（国際モーターサイクリズム連盟）の略称

※2 ワークスチームとは、マシンを製造しているメーカーが運営しているチーム



表彰台の様子



Honda HRC

Honda HRC は、3 日（金）に行われた計時予選においてトップタイムを記録しました。4 日（土）に行われる予選タイムの上位 10 チームで争われる“トップ 10 トライアル”への進出を決めましたが、降雨の影響により、トップ 10 トライアルは中止。予選順位がそのまま決勝グリッドとなり、Honda HRC はポールポジションを獲得しました。

決勝レースは 5 日（日）11 時 30 分にスタート。Honda HRC は 5 年連続で高橋選手をスタートライダーに起用しました。朝からの雨で依然としてウエットコンディションの中、高橋選手はオープニングラップを 2 位で通過。その後、11 周目にトップの座を奪取しました。高橋選手、その後のレイ選手のステイントで 1 回ずつのセーフティーカー導入にもかかわらず、終始安定した走りでも周回を重ねていき、2 位と約 46 秒の差をつけて、レースの半分を消化し、首位を堅持。後半戦も Honda HRC は後続とのギャップをコントロールしながら、首位を維持しました。転倒の影響で、残り 34 分でセーフティーカーが入り、車両回収とコース復旧作業が続き、セーフティーカー先導のまま 8 時間が経過、19 時 30 分にチェッカーフラッグが振られました。

Honda HRC は、鈴鹿 8 耐で 5 連覇を達成し、また鈴鹿 8 耐での Honda の優勝は、通算 32 回となりました。ライダーの高橋選手は、鈴鹿 8 耐で前人未到の 5 連覇を達成するとともに、自身の持つ最多優勝記録を更新する通算 8 勝目を飾りました。

■Honda HRC 高橋巧選手

「5 連覇という記録はとて素晴らしいです。一日を通し雨天での開催となりましたが、無事に完走できたことを本当にうれしく思います。このコンディションだったのでチャントラ選手が走れなかったことは残念でしたが、チームメートとして彼がいてくれたからこそ私たちは力を発揮できました。世界チャンピオンであるジョナサンは、ウエットコンディションでも私より速いタイムを刻み安定した走りでした。チームスタッフは、ピットインの度にミスなく完璧なマシンを準備してくれ、チーム全体のお陰でこの結果につながったと思います。この勝利はチーム全員のものです」

■Honda HRC ジョナサン・レイ選手

「この勝利を心からうれしく思っています。天候の変化やプレッシャーなど、こうした状況下ではたった一つのミスも許されませんでした。チームは素晴らしい仕事をしてくれ、マシンも最高でした。ストレートで他のライダーを追い抜く感覚や、まだ自分自身が先頭で戦えるという事を思い出させてくれました。ありがとう。チームメートも素晴らしく、一貫した走りを見せてくれました。これはチーム一丸となって得られた結果です。また強く雨が降る中、最後のゴールまで応援して下さったファンの皆さんにも感謝します。鈴鹿に戻ってこられたことは、本当に特別なことです。この機会を与えてくれた Honda HRC には、心から感謝しています。ポールポジション、ファステストラップ、そして優勝。最高のレースウイークでした」

■Honda HRC ソムキアット・チャントラ選手

「ジョナサンと巧のことを本当にうれしく思います。今日は、私たちチーム全員が幸せに満ち溢れていました。鈴鹿 8 耐は、私にとって素晴らしい経験であり、大きな学びの機会となりました。この機会を与えてくれた Honda と HRC に感謝しています。レースを走れなかったのは残念ですが、一瞬一瞬を楽しみましたし、将来またこのような機会が訪れることを願っています」

■株式会社ホンダ・レーシング（HRC）代表取締役社長 渡辺康治

「Honda HRC は、鈴鹿 8 耐において 5 連覇を達成し、Honda としても通算 32 勝を成し遂げることができました。これはライダー、チームスタッフ、関係者全員の力が結集した結果です。さまざまな記録がかかった挑戦は大きなプレッシャーとの闘いだったと思いますが、それぞれが自らの役割を全うし、最後まで戦い抜いた姿を誇りに思います。特に高橋選手は、自身の最多勝記録を更新する通算 8 勝目を挙げ、チームの勝利を力強く牽引しました。また、レイ選手、チャントラ選手もそれぞれの経験と強みを発揮し、チームとしての総合力を高めてくれました。この挑戦を支えて下さったスポンサーの皆様、そして現地・世界中から声援を送っていただいたファンの皆様に、心より御礼申し上げます。これからも HRC はさらなる高みを目指して挑戦を続けてまいります」